県内経済の動き

概　況　〔2026年7月～2026年9月の動き〕

個人消費の一部に弱さがみられるものの、景気は緩やかに回復している

鉱工業生産指数（7月）は3カ月連続で前月比低下、通関輸出額（8月　細島港）は6カ月連続で前年同月比増加した。小売店販売額（8月）は2カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（9月）は2カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（8月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（9月　保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（8月）は前月比横ばいの1.17倍で、9月の企業倒産は前月比1件増の4件、負債総額は同3億92百万円減の9億66百万円となった。

2026年度上半期の県内企業倒産における負債総額は62億18百万円と過去10年間で2番目に多く、利上げや人件費などのコスト増が企業経営の重しとなっている。